

令和4年4月7日

令和4年度 静岡大成中学校・静岡大成高等学校入学式学校長式辞

春の暖かさを感じる季節となりました。本日、静岡大成中学校・静岡大成高等学校の入学式が挙行できましたことを大変うれしく思います。またご出席の皆様へ感謝申し上げます。ご来賓の皆様方には、ご多用の中ご臨席を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

創立者杉原正市先生が本校を創立したのは、1903年、今から119年前でした。『時代に即応する新しい女性の育成』を建学の精神に掲げ、「私立静岡精華女学校」が誕生いたしました。女子教育がほとんど行われていなかった当時、女子の学校を作ることには、大変な覚悟と、信念・情熱があったことと思います。静岡大成中学校・静岡大成高等学校は、創立者の教育への情熱を引き継ぎ、『時代に即応する新しい人材の育成』を建学の精神とし、「凛々しきこと、優しきこと」を校訓に、これからの時代を担う「人」を育てる教育を行っています。

中学1年生49名、高校1年生185名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。今日から皆さんは、一つ上のステージに上がります。一つ上の目標を設定し、それに向かって、努力を継続してください。続ければ必ず結果が出ます。「継続は力なり」、がんばりましょう。

中学生はスターライトクラスがあります。夜クラスの仲間と楽しく勉強ができます。まずは中学校生活のリズムをつかむことです。部活動も始まります。時間の使い方を工夫することが大切です。

高校では、2年生から総合選択制が始まります。そのため、1年生のうちに、将来の自分の目標を見定め、3年後の進路を決めることとなります。進路が決まれば、自分がやらなければならないことが見えてきます。もちろん、先生たちも相談に乗りますが、まずは将来の自分を、自分自身で考えていきましょう。

さて、皆さんに目標にしてほしいことが2つあります。

一つは、「自分の力で考え、判断し、正しい言葉で伝えることができる」ということです。自分の考えを持ち、しっかりと相手に伝えることは、自分に自信を持つことにつながります。

もう一つは、「他者の意見を聞き、他者の立場で物事を考えることができる」ということです。相手の考えを真剣に受け止めることは、相手を尊重することにつながります。

自分に自信を持って、相手を尊重することによって、お互いの信頼関係が生まれ、より良い人間関係が築けると、私は思います。ぜひ目標にしてください。

保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。学校と家庭が同じ方向を向いて子供を育てることが、何よりも大切だと考えます。私たち教職員は、保護者の皆様と、

できる限り意思疎通を図りながら、お子様の成長と自立を目指し、教育活動に取り組んで参ります。どうか本校の教育方針に、ご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

では、新入生の皆さんの活躍を大いに期待して式辞といたします。